

CAMPUS GUIDE

豊かな自然に囲まれたキャンパス

公立鳥取環境大学は、2021年に開学20年の節目を迎えます。

キャンパスは、鳥取県鳥取市の閑静な住宅街、若葉台に位置しています。30分ほどで鳥取砂丘、日本海、1時間ほどで芦津溪、氷ノ山などに行くことができ、身近な自然環境をフィールドワークにも利用しています。また、大学の敷地内でヤギを飼育しているヤギ部というサークルもあります。

そんな個性豊かな本学のキャンパスを紹介します。

キャンパスマップ

campus map

CAMPUS Life!

大学の裏山に授業で行くこともあります！
(化石・キノコ採集など)

外国人スタッフと楽しく話せる英語村があります！

学内にヤギがいます！



1 大学本部講義棟

授業で使用する多くの教室がある棟です。また、事務局も配置しています。(1階…学務課・就職支援センター/2階…学長室・副学長室・総務課・入試広報課・研究交流推進課・国際交流センター)



2 100・200講義室

2017年9月に建設された学内で最も新しい講義室。100講義室は301人、200講義室は358人の収容が可能です。環境、経営両学部共通の授業科目(総合教育科目)などで使用されます。



3 ヤギ

大学の敷地内でヤギ5頭を飼育しています。世話にはヤギ部の学生たちが毎日交代でおこなっています。赤い首輪をつけたあずき早がよく柵内から脱走しています。学内の癒しスポットです。



4 実験研究棟

実験研究棟では、生物学、化学、地学、工学など、環境保全について幅広い分野の研究をおこなうことができます。研究活動に打ち込む、環境学部の学生の姿が見られます。



5 4105A 学生研究室

学生ならいつでも利用可能な研究室。研究や課題に取り組むのに最適なスペースです。他大学では例の少ない、1年次から使用可能な学生専用の研究室です。



6 語学演習室

主に外国語科目の授業で使用される収容人数40人程度の教室です。通常の授業科目は90分授業を週1回おこないますが、英語の授業は集中しやすいように45分授業を週2回おこなっています。



7 中庭

スクールバスから降りてすぐの大学の玄関口。晴れた日にはベンチや階段でお弁当を食べる学生たちもいます。春にはヒバリが巣を作っている様子も見られます。冬には一面雪景色になることも。



8 情報メディアセンター(図書館)

約9万冊の蔵書があります。図書館に置きたい本を学生たちで選ぶブックハンティングもおこなっています。授業の空き時間や期末試験前に自習をする学生が多く見られます。また、パソコンの相談窓口、ヘルプデスクも開設しています。



9 英語村

世界各国のスタッフとのコミュニケーションを通じて擬似英語圏が体験できる空間です。映画や音楽などの外国文化をはじめ、料理教室やゲームなどのアクティビティを通して、楽しみながら英語を学べます。



10 ダンクショップ(購買)

教科書・文具・雑貨・食料品等、学生生活に必要な商品を販売しています。また、学生の一人暮らしに必要な家電などリサイクル品の販売もおこなっています。



11 学生食堂(カフェテリア)

一面ガラス張りの学食は自然光があふれ、ランチタイムを快適に過ごせます。天気の良い日はオーブンテラスでの食事がおすすめ。鳥取県で有名な「すなば珈琲」を営業するぎんりんグループが運営しています。



12 クラブハウス・体育館

体育館は、サークル活動やスポーツ実技の授業で使用されます。男女更衣室にはシャワーを備えています。また、すぐそばには計40の部室からなるクラブハウスがあり、サークル活動に活用されています。

